【注意事項】
CS+用 RH850 コード生成、
RH850 コード生成支援ツール AP4

R20TS0622JC0100
Rev.1.00
2020.10.01 号

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. クロック同期シリアルインターフェイス H を使用する場合の注意事項
2. クロック同期シリアルインターフェイス G を使用する場合の注意事項

1. クロック同期シリアルインターフェイス H を使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

- CS+用 RH850 コード生成 V1.00.00 (CS+ for CC V4.00)以降
- AP4 for RH850 V1.01.00 以降

1.2 該当デバイス

RH850 ファミリ：RH850/F1K グループ

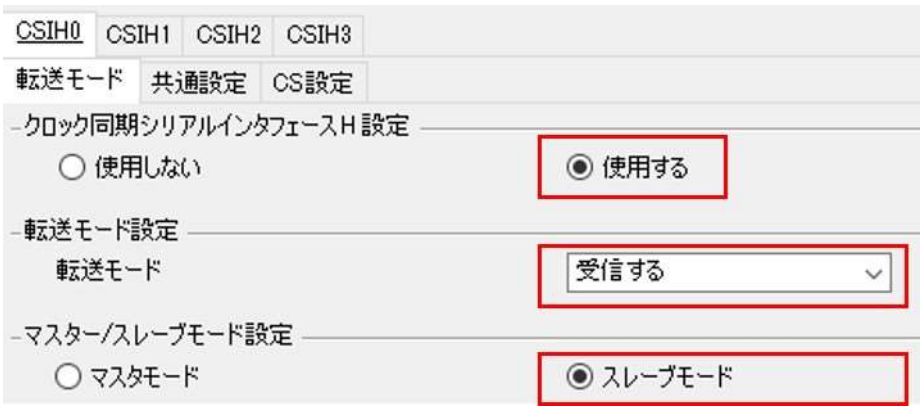
1.3 内容

CSIH をスレーブモードで使用時に、以下の周辺機能で受信モードまたは送受信モードを選択した場合、受信カウント変数の初期化に誤りがあるため、2 回目以降の送信処理が正しく行われません。

- RH850/F1K：

  CSIH0, CSIH1, CSIH2, CSIH3

■ CSIH0 をスレーブモードの受信モードで使用する場合の GUI 設定



1.4 回避策

以下のソースファイルにある、受信カウントの変数名を“g_<*csihn*>_tx_num”から“g_<*csihn*>_rx_num” に手動で修正してください(注)。<*csihn*>は選択した周辺デバイスにより異なります。

- ソースファイル： “r_cg_csih.c”.
- 関数： “MD_STATUS R_<*CSIHn*>_Slave_Receive (uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)”

注: 生成コードは、再度コード生成を行うと修正前の状態に戻りますので、ソースファイルの修正はコード生成を行う度に実施してください。

以下に<*CSIHn*>が CSIH0 の場合の必要な修正例を記します。赤文字の誤ったコードを青文字の正しいコードに手動で修正してください。

修正前

```
MD_STATUS R_CSIH0_Slave_Receive(uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)
{
    MD_STATUS status = MD_OK;
    if (rx_num < 1U)
    {
        status = MD_ARGERROR;
    }
    else
    {
        g_csih0_rx_total_num = rx_num;
        gp_csih0_rx_address = rx_buf;
        g_csih0_tx_num = 0U;
    }

    return (status);
}
```

修正後

```
MD_STATUS R_CSIH0_Slave_Receive(uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)
{
    MD_STATUS status = MD_OK;
    if (rx_num < 1U)
    {
        status = MD_ARGERROR;
    }
    else
    {
        g_csih0_rx_total_num = rx_num;
        gp_csih0_rx_address = rx_buf;
        g_csih0_rx_num = 0U;
    }

    return (status);
}
```

1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

2. クロック同期シリアルインターフェイス G を使用する場合の注意事項

2.1 該当製品

- CS+用 RH850 コード生成 V1.00.00 (CS+ for CC V4.00)以降
- AP4 for RH850 V1.01.00 以降

2.2 該当デバイス

RH850 ファミリ：RH850/F1KM グループ

2.3 内容

CSIG を使用時に、以下の周辺機能で受信モードまたは送受信モードを選択した場合、受信カウント変数の初期化に誤りがあるため、2 回目以降の送信処理が正しく行われません。

- RH850/F1K：100 ピン製品

  CSIG0
- RH850/F1K：144 ピンおよび 176 ピン製品

  CSIG0, CSIG1

■ CSIG0 を受信モードで使用する場合の GUI 設定

2.4 回避策

以下のソースファイルにある、受信カウントの変数名を“g_<csign>_tx_num”から“g_<csign>_rx_num”に手動で修正してください(注)。<csign>は選択した周辺デバイスにより異なります。

- ソースファイル： “r_cg_csig.c”.
- 関数： “MD_STATUS R_<CSIGn>_Receive (uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)”

注: 生成コードは、再度コード生成を行うと修正前の状態に戻りますので、ソースファイルの修正はコード生成を行う度に実施してください。

以下に<CSIGn>が CSIG0 の場合の必要な修正例を記します。赤文字の誤ったコードを青文字の正しいコードに手動で修正してください。

修正前

```
MD_STATUS R_CSIG0_Receive(uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)
{
    MD_STATUS status = MD_OK;
    if (rx_num < 1U)
    {
        status = MD_ARGERROR;
    }
    else
    {
        g_csig0_rx_total_num = rx_num;
        gp_csig0_rx_address = rx_buf;
        g_csig0_tx_num = 0U;
        ……
    }

    return (status);
}
```

修正後

```
MD_STATUS R_CSIG0_Receive(uint16_t* rx_buf, uint16_t rx_num)
{
    MD_STATUS status = MD_OK;
    if (rx_num < 1U)
    {
        status = MD_ARGERROR;
    }
    else
    {
        g_csig0_rx_total_num = rx_num;
        gp_csig0_rx_address = rx_buf;
        g_csig0_rx_num = 0U;
        ……
    }

    return (status);
}
```

2.5　恒久対策

今後のバージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.01.20	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

© 2020 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

TS Colophon 4.1